

COMET

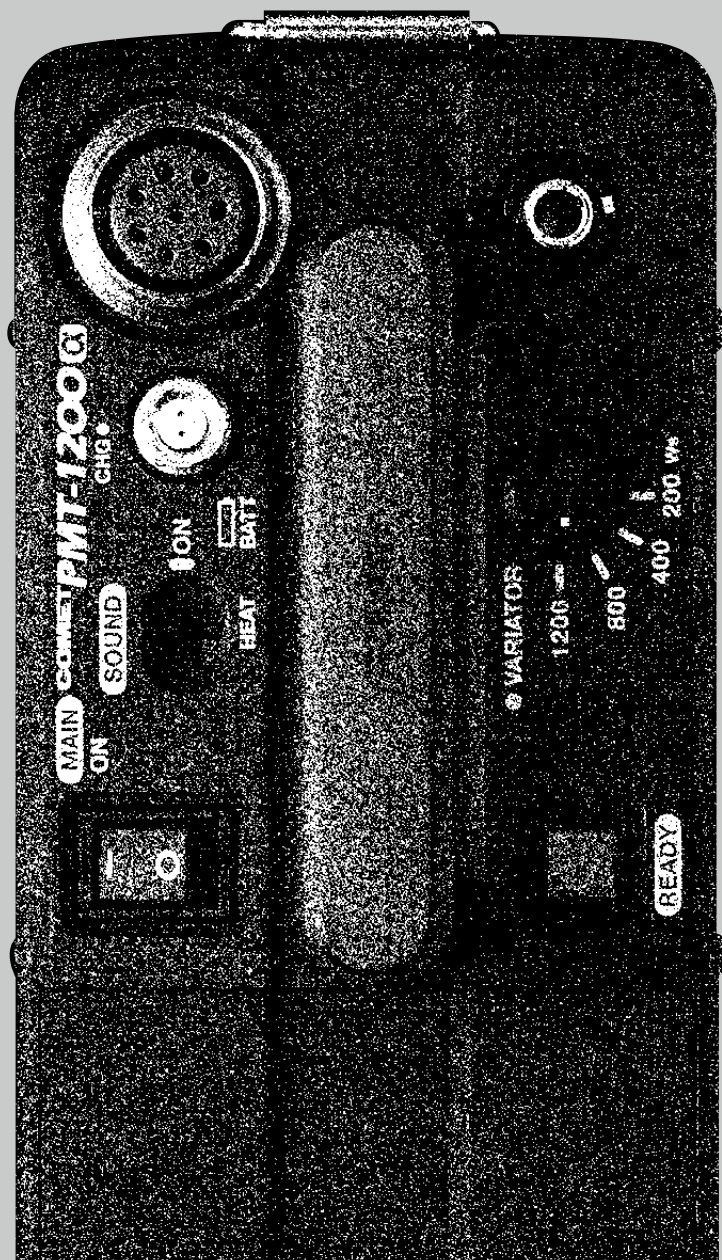
PMT-1200 α

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも

見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、PMT-1200 α 電源部をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分
ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

●CRシンクロコード 2m	1
●LBショルダーベルト	1
●PMT充電器用コード	1
●取扱説明書	本書
●保証書	1

※本取扱説明書に記載された発光部、電池、充電放器は別売品です。

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上の注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき(電源部)	6～7
4. 各部の名称とはたらき(発光部)	8～9
5. 操作手順	10～11
6. 電池の残量表示について	12
7. 不発光警報	13
8. 過熱警報	13
9. 専用ヘッド以外のヘッドの使用について	13
10. 充放電器	14～18
11. 保証とアフターサービス	19
12. 仕様	20～21

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘ 記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



● 記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

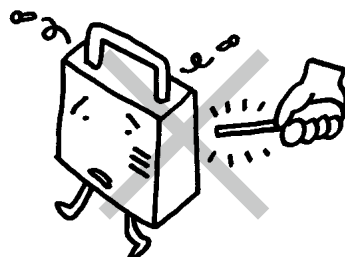


警告



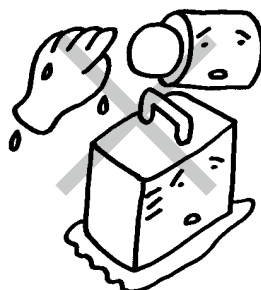
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを「OFF」にしても、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。十分注意をしてください。



- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。



- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管が高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- 発光部は発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

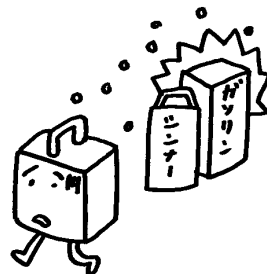
火傷や火災の恐れがあります。





- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100～120/200～240V(50/60Hz)です。(充放電器 NCD-24)

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

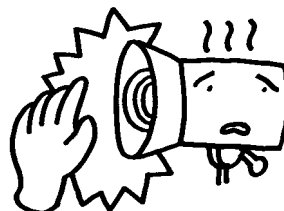


注 意



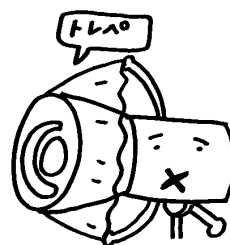
■使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



■ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。

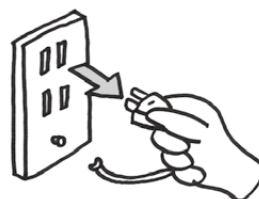


■落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



■使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。(充放電器NCD-24)



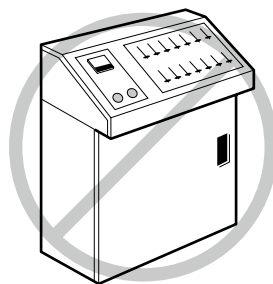
2 使用上の注意とお願い

■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。(充電器)

■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。

■赤外シンクロ装置(当社製)の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置(当社製)で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。



3 各部の名称とはたらき(電源部)

サウンドスイッチ(SOUND)

充電完了ブザーの「ON/OFF」ができます。

メインスイッチ(MAIN)

ヒートランプ(HEAT)

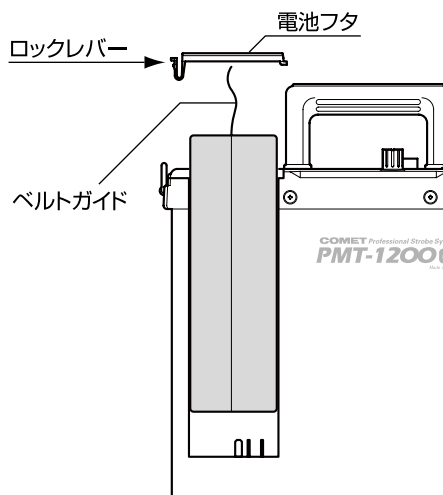
内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、「HEAT」ランプが点灯します。

充電完了ランプ(READY)

テスト発光スイッチ(FLASH)を兼ねています。
充電完了前はスイッチを押しても発光しません。
不発光警報ランプも兼ねています。
不発光の時は点滅しブザーで知らせます。

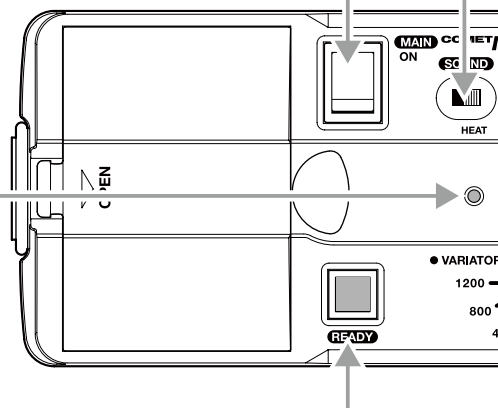
電池収納部

ロックレバーここを押す



出力バリエーター(VARIATOR)

出力を1200・800・400・200Wsの4段階に調節ができます。



バッテリーインディケーター (BATT.)

電池のおおよその残量を表示します。

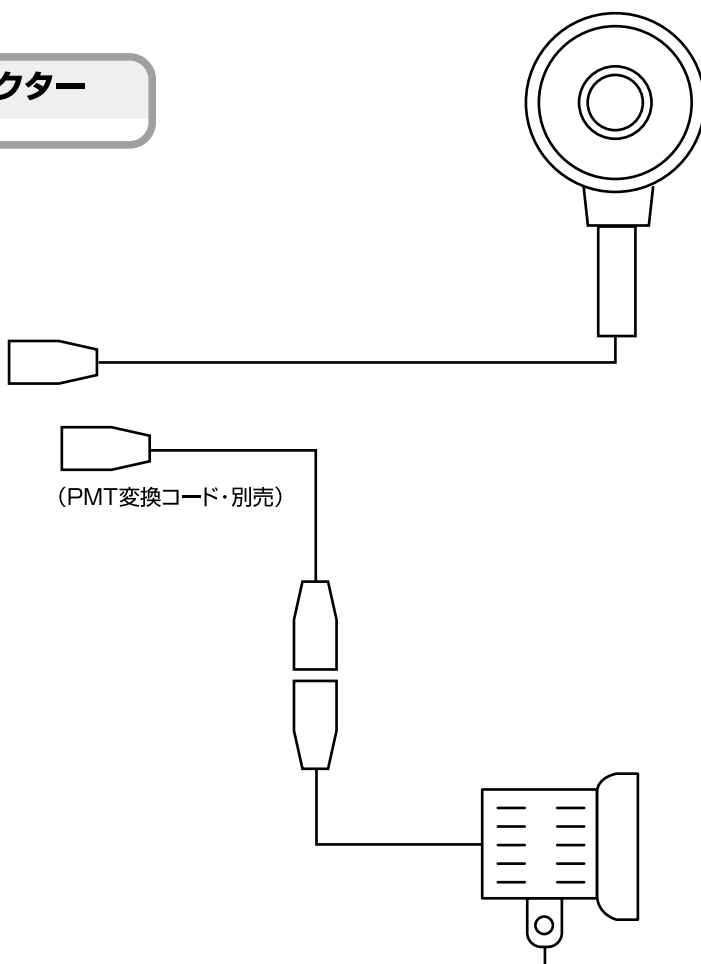
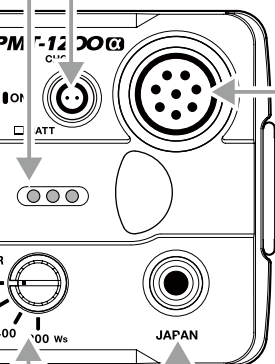
 P12頁参照

電池充電コネクター

充放電器 (NCD-24) を接続するコネクタです。

 P14頁参照

出力コネクター



シンクロソケット

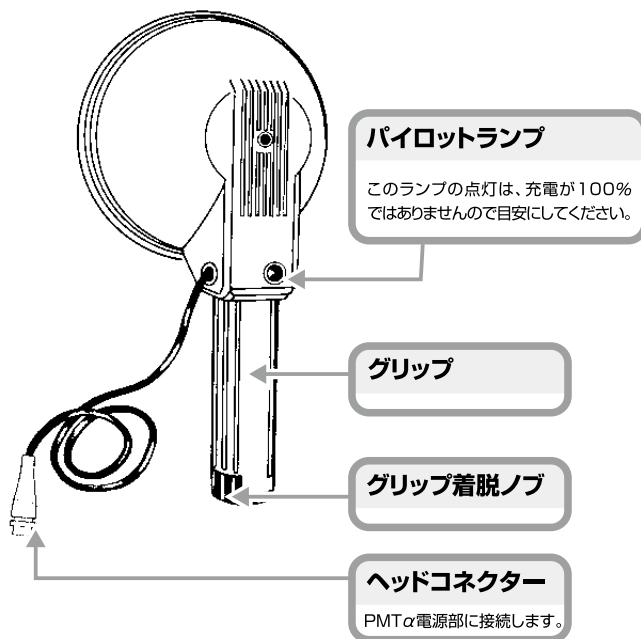
シンクロコードでシンクロソケットとカメラのシンクロターミナルに接続します。

付属のCR-シンクロコード (2m) のほかにCR-シンクロコード (5m)・(10m) も使用できます。

 P10頁参照

4 各部の名称とはたらき(発光部)

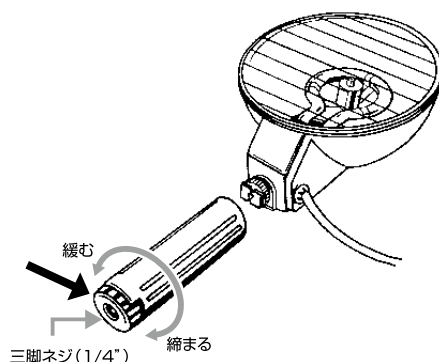
■ PMT-12ヘッド



●グリップをはずして アクセサリシューへ

自由雲台(市販品)をご利用になれば、カメラ
やスタンドに取り付けてご使用になります。

アンブレラバランスができる雲台もあります。
(オプション・LB用アンブレラ雲台)



プロテクター

キセノン放電管やリフレクターを
保護します。

キセノン放電管

発光時及び発光後は、高温にな
っていますのでご注意ください。

フットシュー

カメラなどのアクセサリシューに取りつけられます。
底部は、三脚ネジ(1/4")になっています。

ヘッドコード

[アクセサリ]

PMT-12ヘッド用ワイドパネル
ワイドパネル(PMT-WP)を用意して
います。
これを使用しますと照射角度86°にな
りますが、明るさが1.5EV暗くなります。

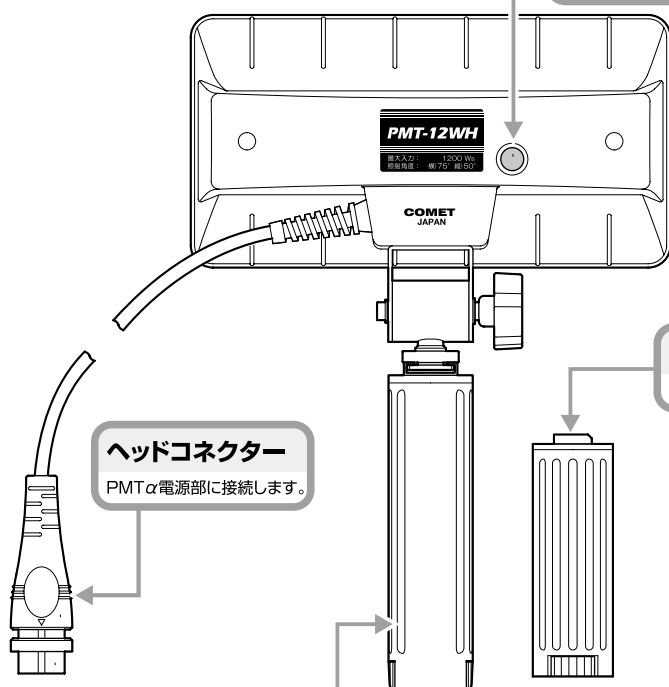
ご注意

プロテクターは、耐熱樹脂を使用していますがこれを付けて連続発光するときは、1200Wsで10回、
200Wsで80回程度(周囲温度20℃)を目安としていただき、放熱には充分にご注意ください。

■ PMT-12 ワイドヘッド

パイロットランプ

このランプの点灯は充電が100%ではありませんので、目安にしてください。



ヘッドコネクター
PMTα電源部に接続します。

アクセサリシュー

フットシューを固定します。

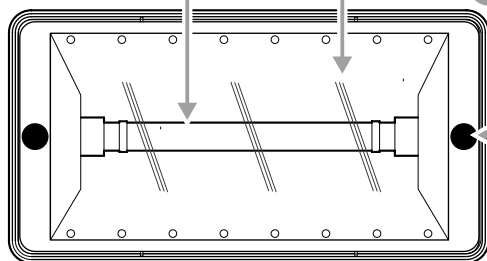
LBグリップアダプター (別売)

キセノン放電管

発光時および発光後は高温になっていますので、ご注意ください。

プロテクター

キセノン放電管やリフレクターを保護します。



プロテクター固定ノブネジ

雲台

ヘッドの照射方向を調節します。

雲台固定ノブネジ

雲台の角度調節を固定します。

フットシュー

カメラなどのアクセサリシューに取り付けられます。底部は、三脚ネジ(1/4")になっています。

ご注意

プロテクターは、耐熱樹脂を使用していますが、これを付けて連続発光するときは、1200Wsで10回、200Wsで80回程度(周囲温度20℃)を目安としていただき、放熱には充分にご注意ください。

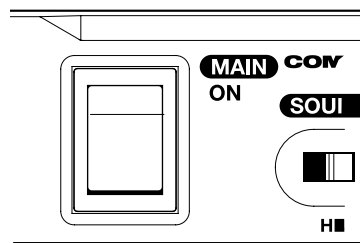
5 操作手順

ご使用になる前に電池を充電してください。(P-14参照)

1 メインスイッチの確認

メインスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

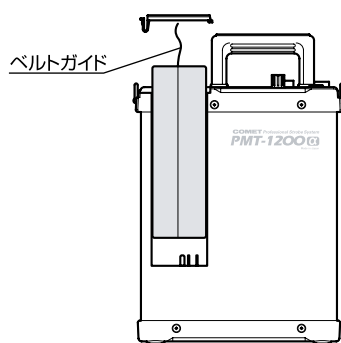
(メインスイッチを「ON」のまま電池やヘッドプラグを差し込むとプラグやコネクタを損傷します。)



2 電池の装着

電池フタを開けて、充電されている専用ニッケル水素電池 (NHB-2428) を電池入力プラグに装着してください。

(取り出すときは、ベルトガイドを持って引き出してください。)



3 ヘッドの接続

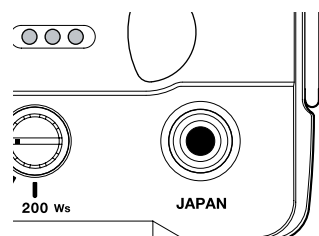
出力コネクタにヘッドコネクタを正しく差し込み、必ず固定リングで固定してください。



4 シンクロコードの接続

シンクロコードでシンクロソケットとカメラのシンクロターミナルに接続します。

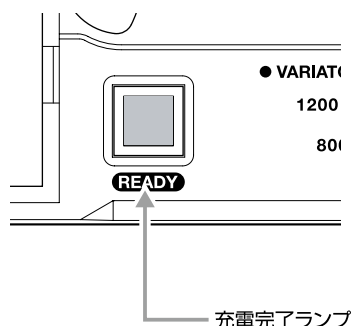
付属のCR-シンクロコード (2m) のほかにCR-シンクロコード (5m)・(10m) も使用できます。



5 充電の開始

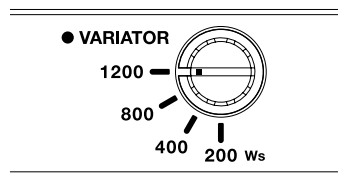
メインスイッチを「ON」にすると充電がはじまり、数秒後に充電完了ランプが点灯します。サウンドスイッチを「ON」にしておくと充電の完了と同時に電子音が知らせます。

(ヘッドを接続されていないと充電されません。)



6 出力の設定

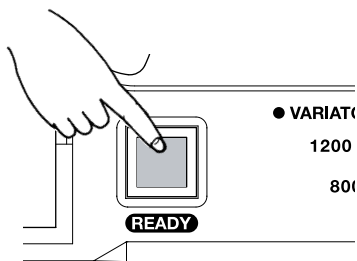
バリエーターで出力を選んでください。



7 発光の確認

テスト発光スイッチを押して発光することを確認してください。

カメラのシャッターでも同様の確認をしてください。



で注意

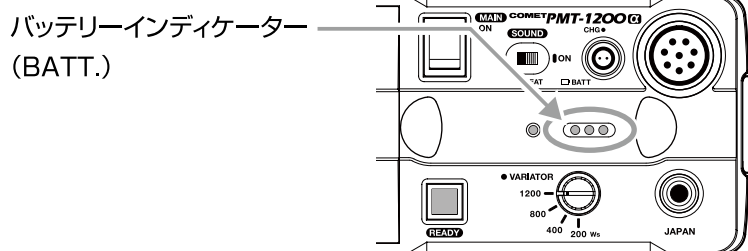
ヘッドの接続について

- ヘッドコネクターの着脱は、必ずメインスイッチを「OFF」にしてから行ってください。「ON」のままでは操作するとコネクタのピンを損傷することがありますので、ご注意ください。
- ご使用にならないときは、ヘッドコネクタを電源部から抜いてください。
- 本機は電源部保護のため、ヘッドコネクタを差し込まないとメインスイッチを「ON」にしても、充電しないようになっています。

6 電池の残量表示について

電池の残量は3個のランプで表示します。

十分に活性化された電池をFULL充電したときは約100回 (FULL出力時) の発光ができますが、残量表示ランプと発光回数の関係は目安として下記のようになります。



NHB-2428 ニッケル水素電池

バッテリーインディケーター	発光回数
残量表示ランプ3個点灯時	約100回
残量表示ランプ2個点灯時	約60～100回
残量表示ランプ1個点灯時	約30～60回
全部消灯後 (EMPTY)	電池を充電してください。 (ストロボの充電が10秒以上になったときは電池を充電してください。)

上記の発光回数は電池が十分に活性化されているものを使用した場合です。

ご購入時や、長時間 (1ヶ月以上) 使用されなかった場合はFULL充電を行っても所定の発光回数が得られない場合があります。

この場合は数回充放電をくり返すことによりリフレッシュします。

ご注意

- 電源部が充電完了したあと、メインスイッチを一度「OFF」にして再び「ON」にすると、電池残量表示が「FULL」表示になりますが故障ではありません。
この時は、一度発光させると正しい表示になります。

7 不発光警報

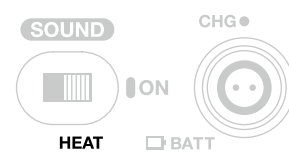
発光操作を行っても、発光しなかった時はブザーが鳴り、充電完了ランプ(READY)が点滅します。



■不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして、正常に発光すれば解除されます。
また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除できます。

8 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、過熱警報ランプ(HEAT)が点滅とブザー連続音で知らせます。



■このような状態のときは一時使用を中止し、
メインスイッチ (MAIN) を「OFF」にして、
風通しの良いところに置いてください。



9 専用ヘッド以外のヘッドの使用について

本機は専用ヘッドの他にPMT変換コード(別売品)を接続して、CXタイプのヘッドがご使用できます。

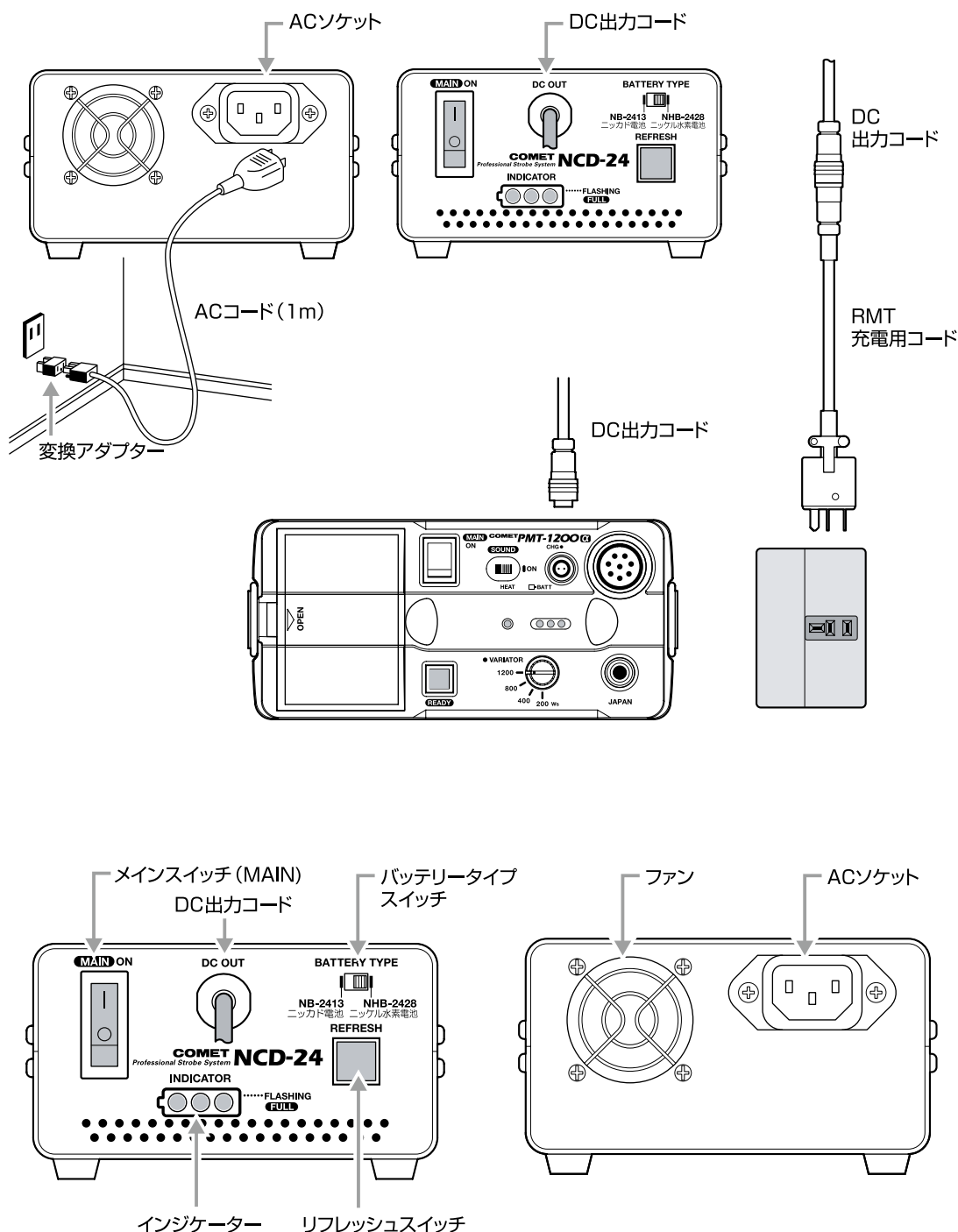
※ 詳細は弊社営業所または販売店にご確認ください

ご注意

- ご使用後は、変換コードを電源部から抜いてください。
もし、メインスイッチが「ON」の状態になっていると電池が消耗します。
- モデリングランプ・ファンは動作しません。
- CX-12パイチューブヘッドは使用できません。

10 充放電器

■ 充放電器 (NCD-24) の接続方法と各部の名称



■ 電池の充電方法

1. 充放電器のメインスイッチ (MAIN) と本機のメインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確認したうえで、DC出力コードを接続します。
 2. 充放電器のバッテリータイプスイッチでNHB-2428 (ニッケル水素) を選びます。
 3. 充放電器のACソケットにACコードをしっかりと差し込みます。3PACプラグに変換アダプターを取り付け次にACコンセントに接続します。
 4. 充放電器のメインスイッチ (MAIN) を「ON」にするとインジケーター1灯が点灯し、充電を開始します。
 5. 充放電器のインジケーターが3灯点滅すると充電完了です。
充電はNB-2413が約1時間、NHB-2428は約2時間で完了します。
- 電池を本体から取り外して、付属の「PMT充電器用コード」に接続して充電することもできます。

■ リフレッシュ機能

発光回数がメモリー効果等で所定の回数まで発光しなくなったときに使用します。
リフレッシュ時間は、フル充電の状態で約3時間かかります。

<操作方法>

電池の充電方法と同じに一旦、充電を開始します。
その状態でリフレッシュスイッチを押すと、リフレッシュ表示が点灯して、放電を開始します。
電池の電圧が所定の電圧まで下がると放電を停止して、通常の充電を開始します。

<解除方法>

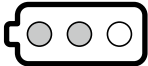
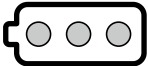
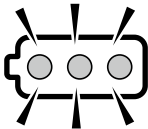
リフレッシュを途中で中止するときは、メインスイッチを「OFF」にしてください。
メインスイッチを「ON」にすると、通常の充電が開始します。

ご注意

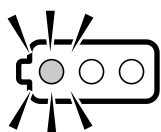


- 満充電の電池をリフレッシュすると数時間かかりますので、極力、電池が空の状態で使用してください。
- 電池を充電する場合、本機のメインスイッチを「OFF」にして行ってください。
- 充電しながら、ストロボの使用は避けてください。機器類の故障の原因になります。

■ 充電表示について

1 充電開始	2 充電中	3 充電中	4 充電完了
			
電池を接続してメインスイッチを「ON」にすると、インジケータのランプが1灯点灯し、充電がはじまります。			充電が完了すると、3灯のランプが点滅し、同時に約4秒間ブザーが断続して鳴ります。
放電した電池はNB-2413が約1時間、NHB-2428は約2時間で充電が完了します。			

ご注意ください



充電表示ランプが1個点滅するときは、次のような場合です。

- ①電池を接続せずにAC電源が投入されている
→直ちに電源を「OFF」にする
- ②電池を連続使用したあとで、内部温度が高い
→温度が下がるのを待つ
- ③出力コード、または充電用コード等が不良
→要修理

■ 海外で使用するとき

充放電器 (NCD-24) は、AC100～120V/200～240Vの地域でご使用になれます。

ご注意



- 海外で使用する場合、使用先の電源コンセントに合った変換プラグをご使用ください。

■ 充放電器出力プラグの脱着

充放電器の出力プラグを本機から抜き取るときは、プラグのロックリングを持って、抜いてください。ロックが解除され、プラグが抜き取れます。

■ 電池の過放電劣化について

電池を過放電（電源を使用状態で長時間放置する等）すると、電池の劣化より電池不良判定機能がはたらき充放電器での電池充電ができないことがあります。

※ストロボ使用状態で放置すると、小電力状態になりますが、制御回路は働いていますので、完全なOFF状態になりません。

■ 電池の取扱について

1. 使用温度について

- 使用温度は、0℃～45℃の範囲内で使用してください。
0℃以下や45℃以上では電池容量が少なくなり所定の発光回数が得られなかったり、性能劣化の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ※PMTαシリーズを低温環境でご使用になる場合は、事前にテストをして光量測定をしてください。
低温時の場合、所定の性能を発揮しない恐れがありますのでご注意ください。

2. 寒冷地での使用について

- 電池が0℃前後まで冷えると、電池の充電状態に関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温（20℃～25℃）になるように暖めてください。（カイロなど）
- 電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

3. 充電について

- 充電時の周囲温度は0℃～40℃の範囲内で行ってください。特に効率がよいのは、10℃～30℃です。
- 0℃以下、あるいは40℃以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

4. 保存について

- 保存温度は0℃～30℃の範囲で、乾燥した場所を選んでください。
- 長期にわたる保存は自己放電や電池内部の不活性化により、初回充電では十分に充電されないことがあります。その場合、充放電を繰り返すことにより特性が回復します。
- 保存期間が1～3ヶ月以内の場合、電池はFULLまたは放電状態どちらでもかまいません。
- 保存期間が3ヶ月を越える場合には、放電状態で保存することが理想です。
- 6ヶ月以上長期保存の場合は、自己放電による性能劣化や液漏れ防止のため、最低3ヶ月に1回は充放電を数回繰り返し行ってください。

5. 電池の発熱について

- 電池は連続発光などで所定の温度以上に発熱すると、電池内部の温度センサーが働いて、電池保護のため電池内部の回路が「OFF」になることがあります。
- 充放電器の充電表示ランプが点滅するときは、いったん充電を止めて、電池の温度が下がるのを待ってください。

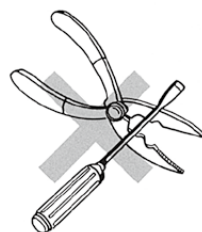
6. 長期間の放置について

- 充電した電池を長期間放置しておくと自然放電します。この場合、使用する直前に再度充電を行ってください。

ご注意とお願い

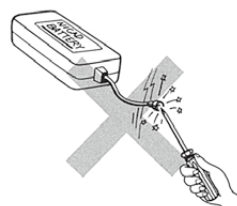
●電池は絶対に分解しないでください

電解液が漏れると強アルカリ性ですので、皮膚や衣類をいためたりします。



●電池をショートさせないでください

電池をショートさせると大電流が流れ、電池を損傷させたり、電池の発熱でやけどの恐れがあり、大変危険です。



●電池を火中に投入しないでください

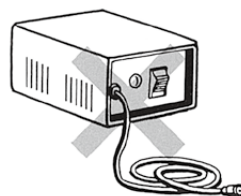
電池が破裂することがあります。



●専用充放電器以外は使えません

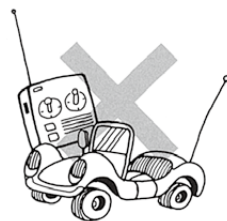
電池と充放電器は専用のものをお使い下さい。

- PMT α 用の電池NHB-2428 (ニッケル水素電池) はPMT用充電器 (NC-24/NC-24II) では充電できません。



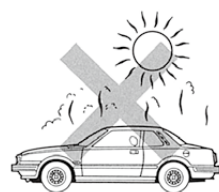
●電池を他の用途に転用しないでください

仕様の違いにより電池を損傷させたり、機器が損傷することがあります。



●高温になる場所に長時間放置しないでください

夏期の閉めきった自動車内や直射日光の当たる所など、高温になる場所に長時間放置しないでください。電池や使用部品の寿命が短くなることがあります。



11 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のコード類をセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

〔電源部〕

品名	PMT-1200 α 電源部
型式	PMT-1200 α
電池	ニッケル水素電池 NHB-2428 (24V2800mAh)
バッテリーインディケーター	3灯のLEDランプで表示
電池充電コネクタ	あり
ヒューズ定格	20A (内蔵)
最大出力	1200 Ws
調光方式	容量調光
出力バリエーター (Ws)	1200/800/400/200
出力コネクタ	PMTタイプ
出力コネクタ数	1
充電時間	5 秒 (電池100%充電時)
発光回数	約100回 (出力1200Wsで電池100%充電時からの回数)
充電サウンド	充電完了音 / OFF
モデリングランプ回路	なし
シンクロソケット/数	ホーンジャックタイプ / 1
シンクロ電圧	DC 12V
充電完了ランプ	あり(テスト発光スイッチ兼用)
不発光警報	充電完了ランプ点滅とブザー連続音
過熱警報	ヒートランプ(HEAT)点滅とブザー連続音
寸法	202 (w)×249 (h)×94 (d) mm ※取手48mm含まず
重量	3.16 kg (電池含まず)

〔充放電器〕

品名	充放電器(PMT- α 用)
型式	NCD-24
定格電圧	AC100V~120V AC200V~240V $\pm 10\%$ (自動切換) 50/60Hz
適用電池	ニッケル水素電池(NHB-2428)・ニッケルカドミウム電池(NB-2413)
バッテリータイプスイッチ	ニッケル水素電池 / ニッケルカドミウム電池を選択します
充電時間	約120分: ニッケル水素電池(NHB-2428) 約70分: ニッケルカドミウム電池(NB-2413)
充電中表示	3灯のLEDランプ(充電が進行すると順次点灯)
充電完了表示	3灯のLEDランプ点滅とブザー断続音
充電異常警報	ブザー連続音(充電中の電池が不良の場合)
寸法 (mm)	122 (w)×71 (h)×200 (d)
重量	860g (ACコード 1m 160g) 別

〔電池〕

品 名	ニッケル水素電池 (PMT用)
型 式	NHB-2428
公称電圧	24V
定格容量	2800mAh
寸 法	74 (w)×164 (h)×50 (d) mm
重 量	1.3kg

〔ヘッド〕

品名	PMT-12ワイドヘッド
型式	PMT-12WH
最大入力	1200 (Ws)
キセノン放電管	QS-11090 (G-10)
充電表示	ネオンランプ
ガイドナンバー	100 (ISO 100・m)
照射角度	50° × 75° (縦×横)
プロテクター	あり (透明ポリカーボ製)
連続発光耐久	10 回以内 (充電が完了と同時に繰り返し発光)
取付方式	フットシュー方式
寸法	188 (w) × 140 (h) × 108 (d) mm
重量	640 g (コード含む)
ヘッドコード	2.5m PMTコネクター付
その他	LBグリップアダプター (別売)

〔ヘッド〕

品 名	PMT-12ヘッド
型 式	PMT-12H
最大入力	1200Ws
キセノン放電管	OFD-12Q-G
充電表示	ネオンランプ
ガイドナンバー	128 (ワイドパネル使用時76) (ISO 100・m)
照射角度	60° (ワイドパネル使用時86°)
プロテクター	あり (透明ポリカーボ)
連続発光耐久	出力1200Ws 10回以内 (充電完了と同時に繰り返し発光)
取付方式	フットシュー方式
寸 法	294 (h) × 102 (d) × 160 (Φ) mm
重 量	650g (グリップ付)
ヘッドコード	2m PMTコネクター付
その他	ワイドパネル (別売)

●本仕様は、2016 年 1 月現在のものです。
改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査
-----	----------------------------	----	----

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ!

愛情点検 	こんな症状はありませんか ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき	このような症状のときは直ちに使用を中止し、当社営業所または販売店にご相談ください。
---	--	--

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。
取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。
- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786 FAX.(03)5916-5872
コマーシャル部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5789 FAX.(03)5916-5876
仙台営業所	〒981-8003 仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521 FAX.(022)727-6523
東京営業所	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5788 FAX.(03)5916-5875
東京営業所 ストロボクリニック課	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5794 FAX.(03)5916-5878
名古屋営業所	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
名古屋営業所 ストロボクリニック課	〒464-0075 名古屋市中千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077 FAX.(052)735-9088
大阪営業所	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 ストロボクリニック課	〒550-0015 大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671 FAX.(06)6536-4020
福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
福岡営業所 ストロボクリニック課	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	TEL.(092)411-1202 FAX.(092)411-1209
海外事業部	〒174-0063 東京都板橋区前野町3-47-1	TEL.(03)5916-5786 FAX.(03)5916-5872

URL <http://www.comet-net.co.jp>

E-mail mail@comet-net.co.jp